

# 進む歩む

製品メーカートップに聞く

ベルテクスコーポレーションの2020年4～6月期の連結決算は減収営業減益となったが21年3月期通期では増収営業増益を見込んでいる。コロナ禍でもホームページなどを用いた営業活動を推進している。土屋明秀社長に話を聞いた。

## 営業の価値観変革を

「緊急事態宣言が出た。そこで、緊急事態宣言が解除された際に在宅勤務から事務所に出勤する従来の体制に一度戻したのがきっかけだ。今年度は東京オリンピック・パリンピックが開催予定だったこともあり、開催期間は交通機関の混雑などで出社が難しくなる見込まれていたことから改めて検討を行う予定だったが、自粛要請や緊急事態宣言の発令により、課題などを検証する前に実施することとなった」

「ウェブ会議などを活用することで在宅勤務自体は可能であることがわかったが、評価や管理に関する体制が構築できていないなど課題も見えてきた。在宅勤務により生産性を高めるとい考えが社員に共有されていないこともわかってきた。そこで、緊急事態宣言が解除された際に在宅勤務から事務所に出勤する従来の体制に一度戻したのがきっかけだ。今年度は東京オリンピック・パリンピックが開催予定だったこともあり、開催期間は交通機関の混雑などで出社が難しくなる見込まれていたことから改めて検討を行う予定だったが、自粛要請や緊急事態宣言の発令により、課題などを検証する前に実施することとなった」

「役所やコンサルなども在宅勤務が増えてきている。これまでのように1日に何件回るといった営業のやり方は変わりつつある。ただ、お客さまが本当に対面営業を求めているかというところ、そういってお客さまばかりではないか。非効率な営業活動を行っていた恐れもある。在宅勤務の拡大はこうした営業の価値観を変えるチャンスだと捉えている。一方で、担当する既存のお客さまがいない新入社員にどうやって営業活動をさせていくかが課題とな

「その方策の第一弾として、ベルテクスグループのゼニス羽田では、8月18日にオンライン上で同社の浸水対策技術を紹介する『VERTIX Online City 2020』をホームページで公開した。今後はさらに内容の充実を図って紹介する技術の種類を増やすとともに、同じベルテクスコーポレーショングループのホクコンの技術なども紹介していきたいと考えている。魅せ方も工夫して多くのお客さまに来ていただけるようにしたい」

「台風や豪雨、地震などの自然災害が頻発しており、防災・減災に注目が集まっている。『高エネルギー吸収型落石防護柵』『ルーフフェンス』をはじめとする当社グループの防災・減災技術についての問い合わせは増えている。ルーフ

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「既存の製品群の拡販に加えて、新たな製品開発も必要。『これまでも他社がやらない分野に挑戦して、独自技術とノウハウで自社開発を重視してきた。ゼニス羽田もホクコンもそのような『メーカー』でありたいという考え方は一致している。コンクリートだけにこだわらず、当社グループの強みを生かせる新技術・新製品を開発し社会に貢献していきたい」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」



千葉県市川市地方卸売市場に設置した雨水貯留槽

## 強みを生かし技術開発

ベルテクスコーポレーション  
土屋明秀社長



「緊急事態宣言が出た。そこで、緊急事態宣言が解除された際に在宅勤務から事務所に出勤する従来の体制に一度戻したのがきっかけだ。今年度は東京オリンピック・パリンピックが開催予定だったこともあり、開催期間は交通機関の混雑などで出社が難しくなる見込まれていたことから改めて検討を行う予定だったが、自粛要請や緊急事態宣言の発令により、課題などを検証する前に実施することとなった」

「避難所の環境整備に役立つ構造物を開発するという需要もあると思う。ゼニス羽田では雨水貯留式災害用トイレシステム『レスキュート』を開発している。簡易水洗に必要な水を蓄える貯水槽と大容量の便槽を備えており、可能な限り平時の使用状態に近づけている。貯留空間を確保しているため、下水道が被災しても汚水を貯めることが可能で、復旧後は下水道に排出できることが衛生状態を保つことができる」